

## この先生にズームイン

### 授業との共通点を発見

数年前から週1、2回、夫婦で近所にある屋内テニススクールに通っており、「楽しくて仕方ない」と声を弾ませる。「褒めてもらおうとすぐうれい」と、学が立場になることで指導方法について改めて考える機会になっているとも。



### 自分でやる派

10年ほど前から、ジェルネイルを月1回のペースで自ら施している。買い足すうちに道具やカラーバリエーションはネイルサロン並みに。このところ定番のデザインはフレンチネイルで、「爪も靴も光っているものが好き」と、キラキラ光るラインストーンやホログラムはマストアイテム。



### 癒やしの存在

ペット飼育OKのマンションへの転居を機に、犬を飼い始めた。「本当に、親ばかりだと思えます」と自覚するほど、ミニチュアダックスフントのみゅーちゃん(7歳)と、もえちゃん(5歳)にメロメロだ。



## 先生に質問!

**A** 教養科目の場合、英語が好きではない学生もいます。そういう人たちに少しでも意欲的に取り組んでもらえるよう、映画を使って講義しています。具体的には、「フォレスト・ガンプ」の劇中シーンを使って、さまざまな言語活動を行っています。学生たちは「本物の英語に触れながら勉強できるのが面白い」と言ってくれます。言葉は実際に使うことで身に付くものだと思います。自分が何を伝えたいか、そのために何が必要かを意識して学んでほしいと考えています。また、間違いは気にせず、まずは相手に伝えるという意識も持ってほしいです。学生には教壇に立ったとき、そういう指導を心掛けてもらいたいです。

**Q** 授業で工夫していることは。  
**A** 音楽的な記憶力が発音力に関係しているということ。メロディーを聞いてすぐに再生できたりする人は、母語以外の言語を発音するスキルも高い傾向にあります。発音には音の高低やリズムの変化の認識が重要だということです。こうした結果を外国語指導や教材開発に応用しようと取り組んでいるところです。

**Q** 研究で見えてきたことは。  
**A** 音楽的な記憶力が発音力に関係しているということ。メロディーを聞いてすぐに再生できたりする人は、母語以外の言語を発音するスキルも高い傾向にあります。発音には音の高低やリズムの変化の認識が重要だということです。こうした結果を外国語指導や教材開発に応用しようと取り組んでいるところです。

**Q** 先生のご専門は。  
**A** 外国語習得における個人差の研究です。同じように学習しても、すぐにそのスキルを習得できる学習者と、そうでない学習者がいます。どのような要因がそうした習得の差に影響を与えているのかを研究しています。現在は特に、短期的な記憶力や音楽的な能力と英語のスキルとの関係を研究しています。

### 趣味と研究を兼ねて

映画を取り入れた指導法についても研究しており、教材探しも兼ね、週4本ほどのペースで洋画を見ている。教材向きなのは分かりやすい話し方・内容で、文化的興味を刺激する要素が含まれているもの。お薦めは米国の歴史に触れつつ、障害がありながらも純粋な心で人生を歩んだ男性の半生を描いた「フォレスト・ガンプ」と、実話を基にした「ザ・アメリカンドリーム」な作品「幸せのちから」の2本。



### 健康のために毎日の習慣

美と健康のため、ビタミン、ミネラル、DHA、鉄分…と体に良いと思われるさまざまなサプリメントを夕食後に欠かさず飲んでいる。「老眼を阻止するため」「記憶力維持のため」「風邪の引き始めに」とそれぞれ目的があるそうで、実際は写真の倍近い種類になるという。



## 近藤 暁子 准教授 言語系教育コース(英語)

平成6(1994)年神戸市外国語大学外国語学部英米学科卒業。民間企業で勤務後、大阪市立の高校の英語教諭となり、在任中に一時休職してサンフランシスコ州立大学大学院で修士課程取得(英語教育学)。その後、奈良工業高等専門学校の講師、准教授などを経て25年から現職。研究分野は英語教育学、応用言語学(第二言語習得)。授業は「英語科授業研究」(学部)、「英語コミュニケーション授業研究」(修士)などを担当している。

## Q&A